

受付番号： 2018-3-23

課題名：乳がん・前立腺がんにおけるがん遺伝子産物 MCL1 発現レベルと悪性度相関に関する研究

1. 研究の対象

神奈川県立がんセンターで乳がん・前立腺がんの切除手術を受けられた方

2. 研究期間

2018 年 12 月（倫理委員会承認後）～2021 年 10 月

3. 研究目的

乳がん・前立腺がんにおけるがん遺伝子産物 MCL1 と、その活性調節分子 p300、USP9X、SIRT3 の発現を検討し、タンパク質 MCL1 の発現量と、MCL1 活性化因子 p300、USP9X、および MCL1 不活性化因子 SIRT3 の各がん進行ステージ（悪性度）別の発現レベル、生存期間との因果関係を検討する。

4. 研究方法

1. 組織マイクロアレイ（Tissue Microarray, TMA）の作製：組織標本ブロックから検索対象となる部分をコア状に抜き取り、200 組織標本分を集約して 1 つのブロックにアレイ化させて再包埋する。乳がん、前立腺がん、それぞれ 4 ブロックを用意する。
2. 免疫染色：4 枚のブロックに対し、MCL1、p300、USP9X、SIRT3 の各抗体を用いて免疫染色とヘマトキシリン・エオジン (HE) 染色を行う。免疫染色と HE 染色は、乳がん、前立腺がんそれぞれについて行う。
3. 撮影と定量：染色後の組織切片のイメージを撮影し、シグナルの定量化を行う。
4. データ解析：MCL1 蛋白質とその調節蛋白質間での発現レベル相関、悪性度相関を検討する。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：手術で摘出した組織

6. 外部への試料・情報の提供

該当なし

7. 研究組織

東北大学大学院歯学研究科先端再生医学研究センター
准教授 犬塚 博之

神奈川県立がんセンター臨床研究所
所長 宮城 洋平

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

仙台市青葉区星陵町4-1

TEL 022-717-8256

東北大学大学院歯学研究科先端再生医学研究センター 犬塚 博之

研究責任者：

東北大学大学院歯学研究科先端再生医学研究センター 犬塚 博之

研究代表者：

東北大学大学院歯学研究科先端再生医学研究センター 犬塚 博之

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先：「8. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)>

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ① 研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ② 研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③ 法令に違反することとなる場合